

レジメン名

Inotuzumab Ozogamicin

出典 ベスボンサ適正使用ガイド2021年9月作成

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

急性リンパ性白血病

- 進行・再発(CD22陽性)
- 補助療法(術前・術後)
- 初発
- 

投与減量の基準

その他	休業期間7日未満:同一クール内で次回投与を延期する 休業期間7日以上:同一クール内で次回投与を行わない 休業期間14日以上: (初回発現)次クールの各投与量を25%減量 (25%減量した後の発現)次の1クールあたりの投与回数を2回にする (2回とした後の発現)投与を中止する 休業期間28日超:投与中止を考慮
-----	--

1クール期間

1クール目:21~28日\*  
2クール目以降:28日

(次のクールまでの標準期間)

\*原則21日間。寛解が得られた場合は、28日間まで延長できる。

総クール数

HSCTの施行を予定している場合:3クール  
HSCTの施行を予定していない場合:6クール\*\*2

\*\*2 ただし、3クール終了までに効果が得られなかった場合には投与を中止すること。

投与中止の基準 ※3 2クール目以降の開始時

ANC	1,000/mm <sup>3</sup> 未満**3	治療開始前の好中球絶対数が1,000/mm <sup>3</sup> 以上の場合
PLT	5万/mm <sup>3</sup> 未満**3	治療開始前の血小板数が5万/mm <sup>3</sup> 以上の場合
ANC	1,000/mm <sup>3</sup> 未満**3	治療開始前の値未満**3
PLT	5万/mm <sup>3</sup> 未満**3	治療開始前の好中球絶対数が1,000/mm <sup>3</sup> 未満または血小板数が5万/mm <sup>3</sup> 未満の場合
AST,ALT	100IU/Lを超える	T-bil 1.8mg/dLを超える
その他	VOD/SOS又は他の重篤な肝障害 重篤なinfusion reaction Grade2以上の非血液毒性	

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
《1クール目または寛解が得られなかった場合》				
イノツマブ オゾガマイシン(ベスボンサ)	0.8mg/m <sup>2</sup>	生食50mL	1時間以上	d1
イノツマブ オゾガマイシン(ベスボンサ)	0.5mg/m <sup>2</sup>	生食50mL	1時間以上	d8、d15
《2クール目以降(寛解が得られた場合)》				
イノツマブ オゾガマイシン(ベスボンサ)	0.5mg/m <sup>2</sup>	生食50mL	1時間以上	d1、d8、d15

1日投与順 (経時的にプレメディケーション・ホストメディケーション、 溶解液まで含む)
《1クール目または寛解が得られなかった場合》 day1 ①ヒドロコルチゾン100mg+ボララミン5mg+生食50mL(15-30min) ②生食50mL(30min) ③ベスボンサ0.8mg/m <sup>2</sup> +注射用水4mL/v(溶解後濃度0.25mg/mL)+生食50mL(1hr以上) ④生食50mL(フラッシュ用) day8、15 ①ヒドロコルチゾン100mg+ボララミン5mg+生食50mL(15-30min) ②生食50mL(30min) ③ベスボンサ0.5mg/m <sup>2</sup> +注射用水4mL/v(溶解後濃度0.25mg/mL)+生食50mL(1hr以上) ④生食50mL(フラッシュ用)
《2クール目以降(寛解が得られた場合)》 day1、8、15 ①ヒドロコルチゾン100mg+ボララミン5mg+生食50mL(15-30min) ②生食50mL(30min) ③ベスボンサ0.5mg/m <sup>2</sup> +注射用水4mL/v(溶解後濃度0.25mg/mL)+生食50mL(1hr以上) ④生食50mL(フラッシュ用)
<内服> 全クール day1、8、15 ・アセトアミノフェン400mg 分1(ベスボンサ投与30分前)
連日(VOD/SOSに対する予防投与を考慮) ・ウルソデオキシコール酸 300~600m 分3